



# 地方創生SDGs 官民連携プラットフォーム 会員募集中


**会費無料**

内閣府では、SDGs<sup>※1</sup>の国内実施を促進し、より一層の地方創生につなげることを目的に、広範なステークホルダーとのパートナーシップを深める官民連携の場として、地方創生SDGs官民連携プラットフォームを設置いたしました。当プラットフォームの趣旨にご賛同いただける皆様のご入会を心よりお待ちしております。

入会申込はこちら

プラットフォームに関する詳細な内容やご入会方法などにつきましては、Webサイトをご覧ください

地方創生SDGs官民連携プラットフォーム → <https://future-city.go.jp/platform/>



※1 2015年9月に国連で採択された「持続可能な開発のための目標(SDGs)」



## 地方創生SDGs官民連携プラットフォームに 登録する3つのメリット

### 1. 普及促進活動 広がる!

- 会員が主催するイベント等の情報をメールマガジン等で発信・受信することができます。
- 会員が開催するセミナー等に対する本プラットフォームの後援名義等の使用が可能です。



本プラットフォームと内閣府の共催で、地方創生SDGs国際フォーラムを開催しております(写真は、地方創生SDGs国際フォーラム2022の開催時の様子です)。

会員主催のイベント情報を共有



イベント開催の  
連絡

イベント主催者の会員

## 2. マッチング支援

つながる!

- 会員が実現したいこと、会員が抱える課題、会員が持つノウハウを閲覧することができます。
- 本プラットフォームに、地域課題やソリューションをご登録いただき、解決したい課題を持つ会員と、解決策やノウハウを持つ会員とのマッチングをサポートします。
- 本プラットフォームが主催するマッチングイベントに参加することができます。



## 3. 分科会開催

学べる!

- 会員の提案に基づいて分科会を設置。会員に共通する課題の検討、知見の共有、取組の具体化を進め、異分野連携・官民連携による、地方創生に繋がる新事業の創出を目指します。
- 本プラットフォームの会員になることで、新たな分科会提案や、設置された分科会への参加が可能となります。

### 将来像からバックキャストのテーマ例

<b>健康長寿</b>	人生100年時代に長く活躍するためには?	3 すべての人に健康と福祉を	8 働きがいも経済成長も
<b>教育</b>	誰もが質の高い教育を受けるためには?	4 質の高い教育をみんなに	10 人や国の不平等をなくそう
<b>働き方</b>	全国どこでも高い生産性を発揮するためには?	8 働きがいも経済成長も	11 住み続けられるまちづくりを
<b>機会平等</b>	誰もが等しく職を得る社会を築くためには?	1 貧困をなくそう	5 ジェンダー平等を表現しよう

など…

多様な主体の水平的連携により、新たな価値創出及びコンソーシアムの形成

### 課題解決に向けた共通の課題のテーマ例

<b>地域資源活用</b>	企業のビジネスを通じて、地域課題を解決する官民の共創事業モデルを創出 →食・農、森林、海洋資源 等
<b>地域課題 × 技術</b>	地域課題を民間企業等の技術・ノウハウで解決するモデルを創出 →Society5.0、AI・IoTの活用 等
<b>金融 (地域金融)</b>	地域課題を解決する事業に対するファイナンス支援のモデルを創出 →ソーシャルインパクトボンド・ファンド・ESG 等
<b>人材育成</b>	課題解決に貢献する地域のアントレプレナーシップを育成するモデルの創出 →ローカルベンチャー 等

など…

官民連携で課題解決を図るプロジェクト創出

加入・分科会等の  
申込についての  
お問い合わせ

「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」運営事務局 (株式会社アゼスト)  
[E-mail] info@mail.future-city.go.jp

※事務局は内閣府地方創生推進事務局とし、その運営は当局の委託業務の受託者である株式会社アゼストが行います。  
なお、当会の運営にあたり、構成員管理等に必要となる書類を当局から株式会社アゼストに貸与いたしますのでご承知おきください。



内閣府  
Cabinet Office